

## 第四十八回フオト旬会優秀作品(27年2月10日)

### 自由題



成長は斜め下向き

軒つらら 中村 晃也

寸 評：雪景色は単色のため遠近感を出すのが難しいが、本作品は近景につららを配し景を大きくするのに成功している。



すずしろの風に震える素肌かな 池田 隆

寸 評：すずしろ（大根）の素肌はある種の色気がある。風に震えればなおさら。葉のついたまま寒風に晒された大根は風情がある。落ち着いた作品だ。



気になるは 脳みそなのか  
毛髪か 平尾 富男  
寸 評：画像中の看板をよく読ま  
ないと句の意味が解らない。面白  
い作品だが、前ページの作品と比  
べると、画像も句ももう一工夫欲  
しいところだ。

ネジ持って爺さんあの世で  
待ちぼうけ 三 春  
寸 評：難解な作品である。爺さ  
んが時計のネジを持って誰を待  
っているのだろうか？画像と句  
だけでは足らずに更なる説明が  
必要とは……。



リハビリ教室 画像は前ページの作品より数段レベルが高いのに、点が入らなかつた作品です。句を少し変えてみてはどうでしょうか？



原 句： しろきいき はきてあるきて きみょうな木 大越 浩平  
写真は新宿御苑にあるえんじゅという木の気根。珍しいので写真を撮る人は多いが、こんなにきれいな写真は珍しい。句は「き」の字を多く使用した努力は認めるが、**奇**をてらい過ぎで画像が生きてこない。ここは作者らしく社会性を持たせて「一斉に手をあげ原発反対と」とか「PM2.5 絶対阻止と檜襖」などの句はいかが？



原 句：アネモネも花を開きて日向ぼこ 松田 昌康  
新入会員の松田さんの初作品である。写真はアングルもよく背景の白い格子戸ともよくマッチしている。ただし句は写真の説明に終りパンチがない。徐々に勉強されることと思うが、「アネモネの風の薄さの花弁かな」とか「緋の裾をひるがえしては客誘う」など少し視点を変えた句で画像とのコラボを楽しむようにされたい。

## 付け句

このページはどんな写真にも良い句がつけられるように  
訓練するコーナーです。



今月は三春さんの出題で、ブランドも  
の古い時計の写真です。

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1) 歯車も電池も不要 腹時計    | 池田 隆  |
| 2) 多機能も今やスマホで全て済み  | 下山 健夫 |
| 3) 今何時？聞かれて見せるオレの腕 | 平尾 富男 |
| 4) 持ち主は骨となってる骨董品   | 中村 晃也 |

寸 評：

- 1) この年になって、いろいろな部品がついている多機能の時計は使わない。  
悠々自適で日常の行動は全て腹時計で済ませている。今日は何日だったかわからないこともあるけど。
- 2) 時間ばかりではなく、気圧や温度、湿度、高度まで一目瞭然の万能時計はもはや必要ない。スマホがあれば、時間はおろか写真も撮れる上、インターネットを通じて世界のニュースもわかるし、友人との交信も可能だ。こんな時代の進歩に君はついてゆけるか？
- 3) 時間を聞かれて、腕を高く上げて高級時計を見せびらかす輩、作者のような人はだいぶ淘汰されましたが、いまだに……。
- 4) 時代が流れても、高価な骨董品は大事に引き継がれるが、持ち主はとうに土に還っている。高価なものを所有できなくても、いずれ他人のものになることを思えば諦めもつくもんですな？